

## システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

|   |                  |                                  |              |
|---|------------------|----------------------------------|--------------|
| 年 度   | 平成 22 年度         | 学位名                              | 修士(ビジネス)     |
| 専 攻   | 経営・政策科学          | 専攻                               | 著者氏名<br>駱 麗裙 |
| 指導教員氏名 渡辺 真一郎   |                  |                                  |              |
| 報告書題目<br>“つくばナース”育成モデルの改善提案<br>(“つくばナース”のクリニカル・ラダーの改善提案)  |                  |                                  |              |
| 報告書概要<br><p>本研究では、主にクリニカル・ラダーに関する文献調査により、アメリカと日本のクリニカル・ラダーの導入現状を比較する。それによって、“つくばナース”のクリニカル・ラダーと標準クリニカル・ラダー(日本看護協会版)との比較も踏まえ、つくばナース版クリニカル・ラダーの改善提案をすることが本研究の目的である。</p> <p>以上の目的を達成することで、“つくばナース”の看護実践能力を向上させ、筑波大学附属病院が特定機能病院として、より多くの地域住民により良い医療サービスを提供することが期待できる。</p> <p>“つくばナース”のクリニカル・ラダーの改善案としては、</p> <p>①同看護部の「期待する看護師像」に基づき、クリニカル・ラダー(日本看護協会版)、またクリニカル・ラダーの導入の先駆である聖路加国際病院看護部や北里大学病院看護部等のクリニカル・ラダーも参考にし、評価項目を整理し、他の病院施設のクリニカル・ラダーとの互換性を配慮すべきこと。</p> <p>②各レベルに評価されている項目については、各年度の評価が実施できるように、各年度の熟練度までを設定すべきこと。</p> <p>という 2 点が挙げられる。表 8-5 は上記問題点と改善提案をまとめたものである。</p> <p>具体的方策として、徳島大学病院看護部のようにクドバス手法を活用することを提案したい。各レベルの看護師たちが自ら日常の仕事内容を振り返り、各レベルの現場での必須な看護実践能力(=評価項目)リストを作り出す。さらに、自らクリニカル・ラダーの修正に参加することにより、看護師たちは地域医療に対する大学附属病院看護師の使命をもう一度考え、看護ケアを質的に向上させ、“つくばナース”というブランド力をアップさせるための院内・院外研修に積極的に参加していきけるような状況を提供していくべきだろう。</p> |                  |                                  |              |
| 審査日   | 平成 23 年 1 月 31 日 |                                  |              |
| 審査員   | (大学名 職名)         | (学位)                             | (氏名)         |
| 主査  | 筑波大学 准教授         | 博士(理学)                           | 原田 信行        |
| 副査  | 筑波大学 准教授         | Ph.D. in Organizational Behavior | 渡辺 真一郎       |
| 副査  | 筑波大学 准教授         | 博士(商学)                           | 岡田 幸彦        |
| 副査  | 筑波大学 准教授         | Ph.D. in Economics               | ターンブル S. ジョン |